

八幡堀と町衆の434年の道のり

通信 八幡堀界隈 瓦 かわら版

2019 Vol.50



豊臣秀次公 文禄四年(1595)七月十五日命日

豊臣秀次公の居城・八幡山城の本丸跡に建つ瑞龍寺で本年も七月十五日顕彰法要が営まれました。秀次公は、永禄十一年(1568)に生まれ、文禄四年(1595)に死去しています。424年前の七月十五日、高野山で自害させられたとされています。母智(とも)は子供のない弟・豊臣秀吉公に長男の秀次公を養子として出していました。切腹を命じられ、秀次公の妻も三条河原で処刑、夫の三好吉房も流刑となりました。唯一残された智は処刑された子や孫の菩提を弔うため出家、名を改め日秀尼となり、以前から帰依していた日蓮宗による寺院を嵯峨の村雲御所別院(二尊院の近く)に開きました。このとき村雲の寺地と「瑞龍寺」の寺号、寺領千石を与えたのが後陽成天皇であり、このため瑞龍寺は日蓮宗寺院では唯一の門跡寺院となり、別名を村雲御所と称し、紫衣の着用と菊御紋の使用が許され、寺格は黒御所と定められました。以後、代々皇女や公家の娘を貫首として迎え、江戸時代には嵯峨から西陣(現在の堀川今出川)に移転しました。

その後、天明八年(1788)天明の大火で全焼し、九世・日尊尼は文政七年(1824)から二十八年の歳月を掛けて再建しました。昭和三十六年(1961)、十一世・日浄尼のとき、京都堀川今出川から秀次公ゆかりの八幡山城址に移されましたが、日浄尼はその完成を見ず遷化されその後、昭和四十三年(1968)入山されましたのが、小笠原氏出身の十二世・日英尼です。家庭の不幸から出家に追い込まれた日英尼は、以後の生涯を瑞龍寺の再建に捧げました。その後を嗣いだのが、宝塚歌劇団卒業生であった桜井紗子こと十三世・日鳳尼です。日鳳尼は平成十四年(2002)八十九歳で遷化されるまで瑞龍寺の再建に寄与しました。十四世・日澄尼までは尼僧でありましたが、十五世は男僧の鷲津日英貫首(枚方市最妙寺より晋山)は御尽力され、本年四月に遷化されました。現在はまだ御門主は決まっておられません。以前と同様に尼僧様がおられる寺院であってほしいです。

豊臣秀次公の命日には瑞龍寺と市民で法要が行われておりますが秀次公の首塚と母日秀尼の墓は京都の善正寺(岡崎)にあります。幼児妻妾たち三十九人賜死した家臣十人の墓と秀次公の五輪の塔は京都の瑞泉寺(木屋町三条)にあります。それぞれの寺院で法要がなされています。また高野山には秀次公が自害した金剛峯寺に「秀次の間」(柳の間)があり、高野山光台院の裏山に桐塚墓所があります。

天正十三年(1585) 十月十五日 八幡開町の日

秀次公の町づくり、八幡商人や八幡堀の歴史的な背景をこれまで仄仄通信でお伝えしてきました。天正十三年(1585)新暦十月十五日(閏年八月二十二日)豊臣秀吉公封地状の日付です。NPO法人秀次倶楽部では八幡が開町された日を秀次公顕彰と私達が感謝を込めて町づくりの精神を受け継ぐ日として十月十五日を「八幡開町の日」に定め、次世代のこども達に近江八幡の歴史や文化を伝え、434年前の十月十五日を「八幡開町の日」が制定されますように市民の皆様にご賛同頂き広めて行きたいと考えています。

また八幡堀は秀次公が築城の際に造られ、堀割は十三箇条の掟にも有るように町の発展の為に大きな役割を担い後に八幡商人の活躍に、重大な役割を果たしました。

昭和の経済成長期に八幡堀を埋めての改修が行政で進められ、「埋めた時から後悔が始まる」から市民運動が始まり歴史のシンボルとして八幡堀は残され再生されました。現在、八幡堀は町のランドマークとなり、観光地として活用されています。

今年の八幡堀まつりは十月十二日(土)に開催されます。同日に秀次公の顕彰事業をNPO法人秀次倶楽部では市民の皆様と開催させていただきます。

また十月十五日は休日では有りませんが「秀次談義」を開催したいと考えております。



参考資料/ウィキペディア

地元発見の旅

近江八幡水郷 琵琶湖八景：重要文化的景観第1号

ふるさとで 夏の思い出づくり!

水郷めぐり

葦が揺れる回廊に 風と鳥と戯れる 湖のせせらぎと 古の歴史の舞台上で 涼を楽しむ 至福のひととき 友や家族と 夏の舟遊び

水郷 www.suigou.com

ご予約時に「瓦版 50号を見た」とお申し込みのお客様限定

令和元年 9月16日迄の乗船予約をされる方のみ

◆水郷めぐり定期船【10:30便 13:30便 15:30便】(水郷～西の湖約60分コース)

料金(税込) 大人 ¥2,160 → ¥1,800 小人 ¥1,080 → ¥900

◆水郷めぐり貸切船【1艘/12名乗り】 随時出航(水郷～西の湖約70分コース) 船内での食事もお楽しみしております。

料金(税込) ¥19,440 → ¥15,000

ご予約のお問い合わせ 0120-305-154 TEL 0748-32-2131

満席となる場合も事前にお問い合わせください。

創業文久三年(1863年)

和たふ

近江銘菓丁稚羊羹発祥の老舗

和たふプロデュースの「あまな」

八幡堀 明治橋に

リニューアルオープン

reopen after renovating

7/27(土) 土用の丑

うなぎ

浜名湖産 厳選

お持ち帰り商品 ご予約承ります

うなぎ弁当 ¥3,700(税込)

うなぎ弁当(ハーフ) ¥2,400(税込)

うなぎ蒲焼[1枚] 並 ¥3,500(税込) 上 ¥3,800(税込)

「やまとく 秘伝の味」

ご予約のお客様に「粗品進呈」

明治橋 あまな

TEL 0748-32-5295 近江八幡市大杉町32



お誕生日・記念日 花束プレゼント (8月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * 岩合光昭写真展 こねこ いいこだね。
美術館「えき」KYOTO ジェイアール京都伊勢丹7階隣接 8月26日迄 30名様
- * 2019年夏季特別展Ⅱ 紫香楽宮と甲賀の神仏
—紫香楽宮・甲賀寺と甲賀の造形— MIHO MUSEUM 9月1日迄 30名様
- * 特別企画展 交流と実験～新時代の〈やきもの〉をめざして～
滋賀県立陶芸の森陶芸館 9月6日迄 20名様
- * ガーデンミュージアム比叡 入園引換券 9月30日迄 30名様
- * 京都新聞スクラップブック「星をみつめて」 10名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記入の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切 花束 洗剤、チケット等 7月31日迄 ▶ 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。予めご了承ください。

応募先 ▶ 〒523-0867近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

参加者大募集! 8月24日(土)

募集人数 40名



体験イベント 西の湖と 葦を学ぼう!

石巻への応援メッセージを葦紙に書きます。義援金箱を設置しています。ご協力下さいね!

- ヨシのおもちゃ作り 指導：丹波喜徳
- ヨシペン教室 指導：柳澤一芸

参加無料

しめきり 8月10日 消印有効

申込み方法 往復はがきに下図のように記入して郵送してください。先着順です。

往信	〒523-0837 滋賀県近江八幡市大杉町30の1 GS新聞浜 NPO法人秀次倶楽部宛	返信	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 お名前	住所 おなまえ 住所番号 年令 電話番号
			ご自分の住所	(何名でも可)

◆開催場所：びわこ揚水/西の湖

持ち物・服装など

- 10:15 受付(びわこ揚水入口正面)
- 10:30 挨拶学習内容の説明と注意事項
- 10:45 ヨシのおもちゃ作り 指導：丹波喜徳
- 11:45 昼食(ヨシうどん、ヨシアイス、ヨシせんべい試食)
- 13:00 ヨシペン、ヨシプープーづくり、よし紙の説明
- よしはがきに手紙を書こう(東北被災地へ)
- 14:30 施設見学
- 15:00 解散

- ◎筆記用具 ◎水筒
- ◎タオル
- 試食は出ますが少量の昼食はご用意下さい。
- 小雨決行、大雨の場合は室内で学習します。
- 駐車場は集合場所にあります。

主催 NPO法人秀次倶楽部 事務局/滋賀県近江八幡市大杉町30-1 ギャラリースペース新町浜 TEL 0748-33-2914 FAX 0748-32-3514

びわこ揚水国営造成推進協議会 近江八幡市北津田町1503番地 TEL 0748-32-4555 URL http://www.zc.ztv.ne.jp/biwako/ FAX 0748-32-4559

後援/(一社)近江八幡観光物産協会 (一財)ハートランド推進財団 近江八幡商工会議所女性会 西川嘉右衛門商店 21世紀土地改良区創造運動